

来週の「売り物」記事はこれ



2011年5月27日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

運動面連載企画インサイド

野球特待生のこれから——「人数制限ルール」で変わるか

31日から

日本高校野球連盟は、来年度から「野球特待生」を1学年5人以内とする制限を設けます。指摘されてきた「ゆがみ」を是正し、学生スポーツの本分を尊重する制度と期待されます。運動面の企画「インサイド」では31日から5回にわたる連載で、制度導入の経緯を検証し、今後への影響を考えます。



遺児の心のケア

くらしナビA面 30日(月)



東日本大震災で親を亡くした子どもたちは数百人に上ると言われます。そんな遺児たちがすこやかに成長するにはどんなケアが必要でしょうか。「あしなが育英会」が阪神大震災から16年間にわたり活動してきた実績を基に、子どもたちのケアについて考えます。

夏に向けた食中毒対策

くらしナビA面 6月1日(水)

いよいよ梅雨入りとなり、食中毒が気になるシーズン。今年は焼き肉チェーンの集団食中毒事件が記憶に新しく、食中毒予防への関心は高まっています。そこで家庭でも注意すべき対策を紹介。まな板の扱いや調理時の工夫などさまざまなポイントを取り上げます。



震災とファッション

くらしナビA面 6月3日(金)



東日本大震災でファッションのトレンドに変化が生じています。東京の老舗百貨店では春・夏カラーとして想定していた「赤やオレンジ」が「白や淡いブルー」に変化。ヒールの高い靴は売れず、かかとが平たんな靴が売れ筋になるなど、変わるトレンドを探ります。

1日の朝刊から、くらしナビ面に社会保障欄が登場します。東日本大震災の影響で遅れていましたが、水曜日に隔週で掲載します。メイン原稿は、社会保障制度をいちから分かりやすく説明する「いろはのい」。初回は年金の支給開始年齢を取り上げます。ヘルスケア・コミュニケーター、岡本左和子さんのコラム「診察室のワルツ」も始まります。お楽しみに。

東日本大震災

「資産価値がなくなる！」 首都圏 揺れる不動産価格 夕刊特集ワイド面 30日（月）

東日本大震災に伴う、液状化現象で激しい被災をこうむった千葉県浦安市。東京のベッドタウンとしてトップクラスの人気を誇り、湾岸の高層マンションに住む若い主婦は「シロガネーゼ」ならぬ「マリナーゼ」と呼ばれ、若い女性たちのあこがれの街です。ところが液状化現象で高層マンションはぐらつき、高級住宅街は波打つなど大打撃。資産価値は目減りしているといいます。震災の影響は浦安地区だけでなく、首都圏のいろいろな地区に及んでおり、地盤が安定しているとされる武蔵野台地では地価上昇の気配も見られるといいます。いま、どうなっているのか——。最新の状況を探りました。



“知りたいが分かる、がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日の変更になることがあります。